

鳥羽市・サンタバーバラ市学生交換派遣事業

ホームステイ体験記

総務課秘書係 ☎ 25-1105

市内の中学生4人が7月29日～8月9日にかけて姉妹都市サンタバーバラ市を訪れ、8月11日～20日にはそれぞれの家庭がサンタバーバラ市の中学生を受け入れました。すばらしい体験をした中学生のみなさんにホームステイ先での体験について感想をいただきました。



新しい目標ができた 交換留学

鳥羽東中学校2年 宮濱一颯

僕が今回の国際交流で一番感じた事は、「人と人が繋がるには、言語の壁や、多少の習慣の違いは関係ない」という事です。なぜなら、サンタバーバラに行った際、ホストファミリーや現地の人と話す時は、言葉というよりも、一緒に笑って笑い合ったりと、あきらかに心から理屈ではないところから繋がっていたからです。ですから現地で日本人が僕一人になった時でも全く孤独を感じる事はありませんでした。そして、相手と通じ合い、笑う事がこんなにも楽しい事なのかと改めて感じました。またその中でお互いジョークでやり取りできるようになった時は、すごく嬉し

かったです。

僕はアメリカで欲しい本があり、それを僕の交換留學生のウィルとその両親に相談したところ、ウィルが本屋さんで買い物をしてくれました。しかし、その本屋さんには売り切れでありませんでした。僕は「もういいよ。諦めるよ」と言ったのですが、「なぜ諦めるの？手に入れられる事ができるのに」と言われてわざわざインターネットで取り寄せてくれ、僕はその本を手に入れる事ができました。

アメリカという国は自己主張がとても強いという勝手なイメージを持っていましたが、その分周りの人たちの協力も一生懸命する一面も持っているのだと思います。僕も見習いたいと思いました。

はじめに、人の繋がりに言語の壁は関係ないと言いましたが、やっぱり気持ちをしつ

かりと伝えるには言葉は必要

です。僕は最後ホストファミリーと別れる時に、「サンキュー」としか言えない自分がもどかしくとても悔しい思いをしました。その分、自分も英語を話せるようになりたいと思えました。この悔しさを忘れないよう、これまで以上英語の勉強に力を入れようと思います。そして次にウィルと家族と会う時には完璧な英語で今回のありがとうの気持ちを伝えたいです。



新しい世界

鳥羽東中学校2年 辻花裕子

最高の10日間でした。

出発前は、初めての外国で、英語も話せないし、不安になる事もあるだろうと思っていました。ですが、アメリカにいて不安に思ったのは入国審査だけで、サンタバーバラで不安な気持ちになつた事は1度もありませんでした。サンタバーバラで過ごした時間は全てが楽しく、素晴らしい思い出になりました。

サンタバーバラはただ町並みがきれいというだけでなく、その街に住む人々もとてもフレンドリーで優しく、みんなが今を楽しんで生きているようで、とても輝いていました。ホストファミリーは、とても親切で優しく、着いたばかりの時は、英語が話せず緊張していた私ですが、すぐに緊張はなくなり、私にとって本当に居心地の良い場所でした。ホストファミリーにはとても感謝しています。

広々きれいな海で泳いだり、いろいろなホームパーティに参加したり、みんなとキャンプで美しい星空を見たり、サイクリングをしたり、フィエスタでパレードを見たり…こ



こにはとても書ききれないほどたくさん楽しい体験をしました。ですがやはり、この交換留学のメンバー8人で過ごした時間が、一番楽しかったように思います。生きてきた環境が全く違う人々と接し、その中で生活する事は、とても貴重な体験でした。今までの私の中になかった考え方や感じ方、日本とは違った常識をたくさん知る事ができ、今まで見ていたものが変わり、私の世界が大きく広がりました。この10日間は、私の人生を大きく変えたと思います。私に絶対にもう1度サンタバーバラに行きます。そして、今回会った人たちと再会したいと思います。

ベラ、シドニー、ウィル、ジャクソン、だから、一颯、優、本当に最高のメンバーでした。またいつか8人で会い

たいです。

そして関係者の皆様、このような素晴らしい体験をさせていただき、本当にありがとうございました。参加して本当に良かったです。私は、この事業がこれから何年先もずっと続いてほしいと思っています。

サンタバーバラに行って 加茂中学校2年 河村たから

今年の夏休みは自分にとって、とても忘れられない夏になりました。アメリカでの体験は初めてが多く、とても良い経験になりました。最初は慣れなかったホームステイ生活も次第に慣れていき、最後



には、離れづらくなっています。ホストファミリーもとても優しいかたで、私の全然だめな英語も理解してくれたのがすごくうれしかったです。

ホストファミリーは、毎日いろいろな所に連れていかれました。その中でも楽しかったのがフィエスタです。フィエスタは、町中がとても盛り上がる大きな祭りです。私も花飾りを買って楽しみました。屋台もたくさん出ていて本当ににぎやかなお祭りでした。祭りのパレードでは、ドレスを着ているかたがそのまま馬に乗っていたり、大きな馬車が何台も通って行ったり、日本ではまず見られない物をとでも多く見ることができた祭りでした。

それから、サンタバーバラはとても自然が美しい所でもあります。海に行けば、はだしで歩ける砂浜がどこまでも広がっています。そして、山にキャンプをしに行った時は、周りの明かりが何も無い所で空いっぱい星を見ることができました。海も山もあって自然がきれいなのは、少し鳥羽に似ているなと思いました。私は行く前、すごく不安でした。自分の英語が通じるの

かということや、日本との文化の違いなど、いろいろなことを考えてしまいました。実際にやってみると、不安が吹き飛ばぐらいい楽しくて、あっという間に11日間が過ぎてしまいました。私は、このプログラムを支えてくれた全てのかたに感謝しながら、この体験を次に生かそうと思えました。

最高の夏の思い出 加茂中学校2年 前田 優

「アメリカに行ける」

考えるだけで胸がわくわくしていました。自分の趣味のダンス、洋楽、アーティスト、明るい人間性、アメリカの文化が好きでした。そしてこの旅は、自分の求めていたもの、想像をこえた最高の旅でした。

ホストファミリーに会う前のバスの中では、かなりドキドキしていました。でも、その必要は全くなかったです。バスを降りたら、すぐにみんながハグしてくれました。最初、緊張してしゃべれなかった僕に声をかけてくれて、日本のこと、僕のことを聞いてくれてしゃべるきっかけが出来ました。その夜、持って行ったお土産をみんなで食べたり、

けん玉に挑戦したりして、一気に家族9人との距離が縮まったと思いました。ホストファミリー一人一人が楽しくておもしろくて、みんなですべてでみんなで遊びました。

団体行動では、サンタバーバラのいろいろな見どころを訪ねました。湖でのキャンプは最高でした。湖を照らす夕日はきれいで、夜はジャクソンも僕もみんなも、キャンプファイヤーの周りで踊って笑いました。焼いて食べたマッシュマロもおいしかったです。

ホストファミリーとの時間は、本当に最高でした。夜のビーチへ出かけたり、ドジャースの野球観戦やロックコンサート、サンタモニカの夕日、何もかも初めての体験でした。ジャクソンの兄弟のマックスは洋楽をいろいろ教えてくれました。エリアルとは朝のジョギングに行きました。ジャクソン、エルヴィスとはゲームをしました。ジョンさんもグリーンさんも優しくておもしろくて、本当に子どもたちよりも親たちが楽しんでいて幸せそうでした。そして僕のことをいつも大切にしてくれました。

眠れない夜は、兄弟の共同部屋で、音楽を流して、ソー



ダで目を覚まして、話したり音楽にのったり。家族が多いからかもしれないけど、こんな楽しい空間が彼らにとってはごく日常であることに圧倒されたし、うらやましかったです。

そしてサンタバーバラ最後の日に行ったカーペンテリアビーチ。ホストファミリーと見たあの夕日は忘れません。いつかまた、ジャクソンの家に家族の一員として戻ることを僕は約束しました。いつか恩返しがしたいです。本当に最高のホストファミリー、最高の旅でした。

